



第43回 令和4年度 定期決算総会議案

令和4年度 事業報告書 正味財産増減計算書 貸借対照表 財産目録



日時：令和5年6月7日（水）AM 9：25 受付

場所：赤羽会館 北区赤羽南1-13-1 電話03-3901-8121

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

東京都台東区下谷1-13-10-301 電話03-5830-7131

第43回 令和4年度 決算総会式次第

司会 高見由紀子

午前9時50分～

1. 開会の辞

石倉昌則

2. 会長挨拶

室井邦春

3. 来賓祝辞

4. 議長選任

5. 定数報告及び議事録署名人の指名

6. 議案審議

第一号議案 令和4年度事業報告承認の件

岩瀬一郎

第二号議案 令和4年度決算報告承認の件

岡田譲治

監査報告

森下克則

第三号議案 名誉会員の件、その他

岩瀬一郎

7. 表彰状授与

(1) 永年勤続者表彰

・配置販売業者表彰

・優良配置販売業者表彰

(2) 受賞者代表謝辞

8. 閉会の辞

石倉昌則

注: 正午より

第三回 資質向上講習会 午前11時45分受付 正午～午後5時

内容 : 第5章 一般用医薬品の適正使用・安全対策

第4章 薬事関係法規・制度・医薬品販売の最新情報

講師 : 東京医薬看護専門学校 薬業科 講師 庄司良文 先生

東京都病院薬剤師会 元副会長

(有)丈夫屋顧問

今泉真知子 先生

スローガン

◎先用後利の精神に則り都民の保健衛生向上に寄与しよう。

◎配置薬によるセルフメディケーションを推進し、地域医療に参入しよう。

ごあいさつ

会長 室井邦春

新元号「令和」も既に今年4月末で満4年となり、5年目となっております。

当東京都医薬品配置協会は、昭和55年4月（任意団体として昭和27年11月に発足）に社団法人として設立され、令和4年度の決算総会で43回目の決算を迎えました。先人が事あるごとに知恵を出し、汗して努力を重ね、試練を乗り越えてきたことを思い、今後も強く守り続けたいと考えます。

「先用後利」の特性を生かして、セルフメディケーションを推進して、地域医療の向上に貢献し、伝統的な歴史を有する配置販売の伝統を守り続けましょう。1690年の江戸城腹痛事件の主役である富山藩第2代藩主、前田正甫公が反魂丹役所を創設して以来、「先用後利」であったということで、配置販売の歴史は少なくとも300余年以上です（赤穂事件は1701年）。

会員全てが資質向上講習会を受講した上で、さらに自己研鑽を積み、東京都民の初期治療に大きく貢献されることを願って止みません。

東京都一円を対象に、配置に携わる配置業者・配置従事者全員が、全国配置薬協会傘下の当協会の会員となり、業界団体としての力が発揮しやすいよう未加入の方には強力に加入を勧めていただきたいと思います。

会員の皆様の一層の深いご理解とご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上

第一号議案

令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

一般社団法人東京都医薬品配置協会

[概況]

中華人民共和国の武漢から発生した、といわれる新コロナ・ウイルスの感染者が、令和2年1月に日本で最初に確認されてから3年余り、今年度に入った4月に厚生労働省の専門家会合の有志は、「第8波」を超える規模の「第9波」が起きる可能性もあるとする文書をまとめましたが、5月 WHO が新型コロナ緊急事態宣言を終了「もはや緊急事態にあらず」となり、日本でも2類相当から5類感染症の分類となりました。この間、日本では3千万人以上の感染者、約7万5千人の死亡者、世界では8億人弱の感染者、7百万人弱の死亡者をもたらしました。

2020年に開催されるはずの東京オリンピック・パラリンピックが1年遅れで、令和3年7月下旬から感染症対策下で開催され、令和4年2月からは北京で冬季オリンピック・パラリンピックが同じく感染症対策下で開催されました。冬季オリンピック終了後(パラリンピック前)には国連の常任理事国であり、核保有国のロシアによるウクライナへの軍事侵攻があり、未だに継続中です。

昨年も記述しましたが、「災害」と「感染症」は深い関わりがあるという学者もいます。ここにもう一つ付け加えたいのが「暗殺」です。大正7年から大正10年のスペイン風邪、大正10年の当時の総理大臣原敬暗殺、大正12年の関東大震災。江戸時代末期、1854年(嘉永7年/安政元年)に安政東海地震、その32時間後に安政南海地震(共に南海トラフが震源域)が、1855年(安政2年)には安政江戸地震が起きました。その他同年間には三重、飛騨・越後、三陸沖でも大地震がありました。安政年間は大老井伊直弼暗殺とコレラ大流行。今回も疫病の蔓延、要人(令和4年7月8日安倍元首相)暗殺、能登半島地方の地震がありました。特に電気、ガス、水道の供給が途絶え、物流の停滞がもたらす影響を考慮し、数日間は持ちこたえられる備えが必要でしょう。

新コロナ禍、対面を基本とする私たちの仕事に大きな影響がある中で、令和3年4月より、経過期間終了により製品の総額表示が施行され、配置薬の多くは無定価となりました。ウクライナ・ロシアの戦争の影響もあり、エネルギー、食品を中心とした値上げの流れのなかで、配置薬価格値上げ、欠品、終売、さらには古薬交換率変更等、顧客と対面する配置従事者の対応が従来にも増しております。

当協会の行事面では、資質向上講習会は通信教育併用により予定通り行い、8.1配置薬の日における献血協力は強行したものの、「6・26 国際麻薬乱用撲滅デー」都民の集いは中止。薬物乱用の根絶を図るために全国一斉に実施している麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動(10月1日から11月30日まで)の一環としての、「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動東京大会」は開催されたものの、無観客となりました。東京都委託講習会は今年も書面開催となりました。

今年度は平時に戻っていくことを祈っております。今後とも会員各位の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

I 会議等

1. 令和3年度決算総会

令和4年6月8日(水) 赤羽会館小ホール

- (1) 令和3年度 事業報告、決算報告を承認

2. 令和5年度予算総会

令和5年3月9日 (水) 赤羽会館小ホール

- (1) 令和5年度 事業計画、収支予算案を承認

3. 理事会

5月12日 ①監査会②決算承認、決算総会、協会会長表彰の件③資質向上講習の件④その他、行事の件

6月8日 代表理事選出

1月30日 予算(案)総会資料検討確定

II 事業内容

1. 教育事業

薬事講習会:東京都より委託 (東京都登録、全 配置販売業者対象)

新型コロナ・ウイルス感染防止のため、会場にての開催を書面開催に変更し、11月に全配置業者に送付

講師:東京都福祉保健局健康安全部薬務課、東京都福祉保健局健康安全研究センター広域監視部 薬事監視指導課

及び、元東京都薬務課、元東京都薬用植物園園長 北川重美先生

- (2) 一定水準30時間資質向上講習会

例年の通り4月、6月、3月に開催。

4月6日 赤羽会館小ホール

第3章 主な医薬品とその作用

東京医薬看護専門学校薬業科 庄司良文 先生

6月6日 赤羽会館小ホール

第5章 一般用医薬品の適正使用・安全対策(3時間)

東京医薬看護専門学校薬業科 庄司良文 先生

第4章 薬事関係法規・制度、医薬品販売の最新情報

第7章 区域の管理に関する事項(令和4年4月より追加)

東京都病院薬剤師会 元副会長 (有)丈夫屋顧問 今泉真知子 先生

3月9日 赤羽会館小ホール

第6章 リスク区分等の変更があった医薬品について

第7章 区域の管理に関する事項

第8章 配置販売業者に求められる理念・倫理・関連法規

元東京都薬務課、元東京都薬用植物園園長 北川重美先生

第1章 医薬品に共通する特性と基本的知識

第2章 人体の働きと医薬品

東京都病院薬剤師会 元副会長 (有)丈夫屋顧問 今泉真知子 先生

2. 都民に対する薬事知識の普及啓発事業

(1) おきぐすり相談窓口 相談件数、今年度1件

3. 薬務行政協力事業

(1) 麻薬・覚せい剤撲滅運動に対する協力

6月 東京都主催「6・26 国際麻薬乱用撲滅デー」都民の集いは中止

11月 麻薬・覚醒剤乱用防止運動都民大会-東京大会は無観客開催

(2) 献血協力 8月1日(配置薬の日) 新宿東口献血ルーム(10:00-16:00 広報含む)

4. 配置薬業向上改善事業

(1) 関係団体会議他出席

令和4年5月16日 関東ブロック会定期総会(場所:埼玉)

令和4年11月22日 関東ブロック会定期総会(場所:埼玉)

令和4年6月22日 全配協関係総会(場所:名古屋)

令和4年7月4日 全配協関係総会(場所:岐阜)

令和5年1月 (公社)日本薬剤師会新年賀詞交歓会 中止

(公社)東京都薬剤師会新年賀詞交歓会 欠席

(公社)東京都医薬品登録販売者協会 中止

以上

第二号議案

令和4年度 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(第43期)

(単位：円)

	決算額			備 考
	当年度	前年度	増減	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費	3,014,000	3,260,000	△ 246,000	予算 決算
受取会費	3,014,000	3,260,000	△ 246,000	甲 50名 甲 57名
②受諾事業収益	398,834	398,167	667	乙 90名 乙 88名
全配協補助金	50,000	50,000	0	
資質向上対策費助成金	138,000	150,000	△ 12,000	資質向上対策助成金令和4年度分
東京都委託金	210,834	198,167	12,667	講習会費・都より委託費
③雑収益	334,029	308,042	25,987	
受取利息	25	26	△ 1	定期預金・普通預金
受講料収入	334,000	308,000	26,000	一定水準資質向上講習会受講料
雑収益	4	16	△ 12	
経常収益計	3,746,863	3,966,209	△ 219,346	
(2) 経常費用				
①事業費				
i 指導教育に関する事業費	1,306,320	1,312,927	△ 6,607	
(i) 講習会費(協会)	547,338	478,199	69,139	
講師料	185,000	160,000		一定水準資質向上講習会
賃借料	64,500	64,500		3回実施。併せて134名参加
旅費交通費	54,920	43,450		外部講師料・交通費・印刷製本
通信運搬費	18,778	57,056		会場費・付帯設備費等
印刷製本費	77,478	34,316		テキスト印刷製本等
費用弁償	135,550	111,750		
記録費	6,000	6,000		
雑費	5,112	1,127		
(ii) 東京都委託講習会費	181,642	189,628	△ 7,986	
講師料	40,000	40,000		外部講師講演料
賃借料	0	0		資料送付で実施。222通
旅費交通費	14,170	16,450		外部講師料・打合せ交通費
通信運搬費	48,042	51,704		案内等

印刷製本費	23,230	21,974		テキスト印刷製本等
費用弁償費	56,000	59,500		資料印刷費は別科目
記録費	0	0		
雑費	200	0		
(iii) 給料手当	0	0	0	
給料	0	0		職員全給料の2/3(含む残業手当)
(iv) 賃借料	575,540	641,200	△ 65,660	
賃借料	575,540	641,200		全賃借料の2/3
(v) 表彰費	1,800	3,900	△ 2,100	
記念品費	1,800	3,600		優良配置業者表彰
旅費交通費	0	0		永年勤続者表彰
通信運搬費	0	300		
印刷製本費	0	0		
費用弁償費	0	0		
分担金	0	0		表彰祝賀会分担金として
ii 薬事知識普及啓発のための事業費	85,200	85,200	0	
(i) 都民への薬草勉強会費	0	0	0	
広告宣伝費	0	0		薬草勉強会 都民参加
旅費交通費	0	0		実費交通費
通信運搬費	0	0		都立薬用植物園に於いて
印刷製本費	0	0		都民に呼びかけて開催
費用弁償費	0	0		
記録費	0	0		
雑費	0	0		
(ii) 都民、消費者への情報開示費	85,200	85,200	0	
インターネット通信費	85,200	85,200		インターネットによる情報開示
iii 薬事衛生事業への協力費	36,008	14,420	21,588	
(i) 献血促進活動費	36,008	14,420	21,588	
旅費交通費	2,340	4,420		お手伝い者実費交通費
通信運搬費	4,688	0		
費用弁償費	6,000	10,000		お手伝い者・協力者弁償費
記録費	0	0		
雑費	22,980	0		クリアホルダー作成
(ii) 麻薬撲滅活動協力費	0	0	0	
旅費交通費	0	0		「6・26 国際麻薬乱用撲滅」
通信運搬費	0	0		都民の集いに参加協力
寄贈費	0	0		「麻薬・覚せい剤乱用防止運
印刷製本費	0	0		動」都民大会に参加協力
費用弁償費	0	0		無観客で参加中止

記録費	0	0		
iv 相談事業費	1,000	0	1,000	
(i) 電話相談費	1,000	0	1,000	今年度電話相談 1 件
通信運搬費	1,000	0		
v 支部活動事業費	0	0	0	
(i) 支部活動事業費	0	0	0	
東部支部	0	0		3 支部活動費
西部支部	0	0		実費精算方式
多摩支部	0	0		
vi 情報収集及び刊行物発行費	0	0	0	
(i) 機関紙発行費	0	0	0	
費用弁償費	0	0		
通信運搬費	0	0		
印刷製本費	0	0		
vii 上部団体会議費	54,240	3,980	50,260	関係団体へ出席
(i) 全配協会会議費	10,000	0	10,000	
会議費	0	0		会議費、交通費 他
旅費交通費	0	0		全配協の理事として出席
費用弁償費	10,000	0		交通費は全配協支出
(ii) 関東ブロック会会議費	44,240	3,980	40,260	
会議費	0	0		会議費、交通費 他
通信運搬費	0	0		6 月、11 月
旅費交通費	9,240	980		
費用弁償費	35,000	3,000		
viii その他の事業	0	0	0	
(i) 関東ブロック東京大会	0	0		
事業費計	1,482,768	1,416,527	66,241	
②管理費				
費用弁償費	439,450	287,500	151,950	役員・他団体との会議・理事事務所作業
給料手当	0	0	0	職員給料 全給料の 1/3
厚生費	0	0	0	法定)職員 中退金掛金・社会保険料
全配協負担金	82,500	88,000	△ 5,500	
関東ブロック会負担金	30,000	0	30,000	
新聞図書費	92,400	88,000	4,400	
旅費交通費	92,340	67,770	24,570	理事事務所作業、会計チェック等実費交通費

通信運搬費	41,239	60,810	△ 19,571	総会案内送料
什器備品費	0	0	0	
消耗品費	48,777	10,029	38,748	
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	22,313	15,187	7,126	総会資料
水道光熱費	51,177	45,131	6,046	
賃借料	287,780	320,600	△ 32,820	事務所・コピー機リース料 全賃借料の 1/3
手数料	155,526	156,361	△ 835	山田会計顧問料・会費徴収手 数料・振込手数料
損害保険料	15,500	0	15,500	
租税公課	81,000	70,000	11,000	都民税・区民税、印鑑証明等
雑費	0	0	0	他団体との会議等・慶弔費
管理費計	1,440,002	1,209,388	230,614	
経常費用計	2,922,770	2,625,915	296,855	
当期経常増減額	824,093	1,340,294	△ 516,201	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	824,093	1,340,294	△ 516,201	
一般正味財産期首残高	4,049,132	2,708,838	1,340,294	
一般正味財産期末残高	4,873,225	4,049,132	824,093	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	4,873,225	4,049,132	824,093	

貸借対照表

令和5年3月31日

(第43期)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	372,025	308,422	63,603
普通預金	1,662,211	875,932	786,279
振替貯金	2,451,255	2,459,061	△ 7,806
当座預金	589	589	0
定期預金	1,000,204	1,000,187	17
仮払金	47,108	47,108	0
流動資産合計	5,533,392	4,691,299	842,093
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定資産	0	0	0
(3) その他固定資産			
電話加入権	95,154	95,154	0
保証金	0	0	0
固定資産合計	95,154	95,154	0
資 産 合 計	5,628,546	4,786,453	842,093
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	428,000	388,000	40,000
預り金	327,321	349,321	△ 22,000
流動負債合計	755,321	737,321	18,000
負 債 合 計	755,321	737,321	18,000
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	4,873,225	4,049,132	824,093
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	4,873,225	4,049,132	824,093
負債及び正味財産合計	5,628,546	4,786,453	842,093

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
該当なし
- (2) 固定資産の減価償却について
該当なし
- (3) 引当金の計上基準について
該当なし
- (4) 消費税等の会計処理方法について
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 会計方針の変更

該当なし

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産	0	0		0
小 計	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正 味財産から)	(うち一般正 味財産から)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

6 重要な後発事象

該当なし

財 産 目 録

令和 5 年 3 月 31 日

(第 43 期)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現 金 現金手許有高	372,025		
普通預金 三菱 UFJ 銀行日暮里支店	1,662,211		
振替貯金	2,451,255		
当座預金 三菱 UFJ 銀行日暮里支店	589		
定期預金 三菱 UFJ 銀行日暮里支店	1,000,204		
仮 払 金 決算総会会場費等	47,108		
流動資産合計		5,533,392	
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0		
(2) 特定資産	0		
(3) その他固定資産			
電話加入権	95,154		
固定資産合計		95,154	
資 産 合 計			5,628,546
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費 令和 5 年度分	428,000		
預り金 全配協費預り	327,321		
流動負債合計		755,321	
負 債 合 計			755,321
正 味 財 産			4,873,225

監 査 報 告 書

理事会により提示のありました事業報告書及び会計帳簿その他証憑、書類等を監査致しました結果、適正且つ正確であることを確認いたしました。

令和 5 年 5 月 15 日

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

監事 高見由紀子

監事 森下克則

監査報告書

令和5年5月15日

一般社団法人 東京都医薬品配置協会
会長 室井邦春 殿

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

監事 高見由紀子 

監事 森下克則 

私たち監事は、令和5年5月15日に、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- (1) 決算書類の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な検査、立会、照合及び報告の聴取その他通常とすべき必要な方法を用いて監査した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款(寄附行為)に違反する重大な事実はないと認めます。
- (4) 公益目的事業の実施が適正に行われたことを認めます。

以上

表彰状授与

- | | | |
|---|-----------------|------|
| ☆ | 薬事功労賞受賞者芳名 | 該当なし |
| | 東京都功労者表彰 | 該当なし |
| ☆ | 令和4年度 優良配置業者表彰者 | |
| | 東 部 支 部 | 該当なし |
| | 多 摩 支 部 | 該当なし |
| | 西 部 支 部 | 該当なし |
| ☆ | 永年勤続者賞 | |
| | 配置販売業者 | 該当なし |
| | 配置従事者 | 該当なし |
| ★ | 名誉会員 石倉宗昌 氏 | |
| ★ | 名誉会員 小川孝一 氏 | |

会費等納入のお願いの件

本会は昭和 55 年 4 月の社団法人設立以来、今日まで医薬品のもつ倫理性及びその公益性に対する会員の皆様の充分なご理解と軽度の疾患に対するセルフメディケーションの推進並びに、その知識の啓発を通して地域住民の保健衛生確保のため努力を重ねてまいりました。本年もこの趣旨に沿い、各事業等を実施しており、これらの費用は会費をもって賄われております。

何卒上記ご理解の上、会費等の納入をお願い申し上げます。

※公益事業を円滑に遂行します上からも会費納入が未だされていない場合は納入の程お願い致します。

令和 5 年度 納入会費等

項目		金額
1.協会費(身分証1枚毎)	甲	22,000 円
	乙	20,000 円
2.全配協賦課金	体質強化費	800 円
	政治連盟費	200 円
	資質向上対策費	3,000 円
合計(上記 1.+2.)	甲	26,000 円
	乙	24,000 円

※ 全配協賦課金は、他の道府県にて納入している場合は必要ありません。

この場合は 2.全配協賦課金を除く額、即ち 1.協会費 となります。また、体質強化費、政治連盟費は金額が変わりましたが、総額は変わりません。